

情報通信審議会情報通信技術分科会 CISPR 委員会（第 31 回）
議事録（案）

第 1 開催日時

平成 21 年 11 月 6 日（金） 15 時 00 分～16 時 50 分

第 2 開催場所

総務省 10F 第 1 特別会議室

第 3 出席者（順不同、敬称略）

主査：藤原修

構成員：山中幸雄、雨宮不二雄、井上正弘、篠塚隆、塚原仁、徳田正満、
岡本和比古、黒田道子、佐竹省三、田島公博、千代島敏夫、
野島昭彦、羽田隆晴、平伴善光、福永香、堀和行、本田稔

関係者：長部邦廣、小玉博一、後藤薫、田中信昭、野田臣光、
長倉隆志（平田真幸代理）、前川恭範

一般傍聴者：6 名

事務局：岡野電波環境課長、山田電波環境課電波監視官

第 4 議事次第

1 開会

2 配付資料の確認

3 議事

(1) CISPR 委員会（第 30 回）議事録案の承認

(2) CISPR リヨン会議審議結果

(3) CISPR 委員会報告（案）

(4) その他

4 閉会

第 5 議事概要

(1) 事務局から専門委員の新規指名 1 名（田辺委員）及び退任 1 名（山口委員）
について報告があった。これに続き、藤原主査から、山口委員の前 I 小委員会
国際幹事としての活躍に対する感謝が表明された。（参考資料 31-4『情報通信
審議会情報通信技術分科会 CISPR 委員会構成員名簿』）

(2) 事務局から配付資料の確認があった。

(3) 藤原主査から冒頭の挨拶があり、IEC における CISPR の位置付けについて説
明の後、リヨン会議出席者に対する参加へのお礼が述べられた。

- (4) 資料 31-1 『前回議事録 (案)』について修正意見があれば 11 月 13 日 (金) までに事務局あてに連絡することとして承認された。
- (5) 資料 31-2-1 『CISPR リヨン会議総会審議結果 (案)』について藤原主査から概要説明があり、以下のコメントの後、承認された。
- ・複数試験法については、CISPR リヨン会議後の 10 月に開催された IEC-SMB において、各 TC/CISPR ごとに Reference Method を規定するか否を決められるよう、IEC-Directive を修正する方向性が示されたと聞いている。
- (6) 資料 31-2-2 『CISPR リヨン会議 SC/S 審議結果 (案)』について雨宮副主査から概要説明があり、特にコメントなしに承認された。
- (7) 資料 31-2-3 『CISPR リヨン会議 SC/A 審議結果 (案)』について山中主査代理から概要説明があり、特にコメントなしに承認された。
- (8) 資料 31-2-4 『CISPR リヨン会議 SC/B 審議結果 (案)』について篠塚副主査から概要説明があり、特にコメントなしに承認された。
- (9) 資料 31-2-5 『CISPR リヨン会議 SC/D 審議結果 (案)』について塚原副主査から概要説明があり、特にコメントなしに承認された。
- (10) 資料 31-2-6 『CISPR リヨン会議 SC/F 審議結果 (案)』について井上副主査から概要説明があり、特にコメントなしに承認された。
- (11) 資料 31-2-7 『CISPR リヨン会議 SC/H 審議結果 (案)』について徳田副主査から概要説明があり、特にコメントなしに承認された。
- (12) 資料 31-2-8 『CISPR リヨン会議 SC/I 審議結果 (案)』について雨宮副主査から概要説明があり、特にコメントなしに承認された。
- (13) 資料 31-3-1 『CISPR 委員会報告概要 (案)』について、藤原主査から説明があった。また、資料 31-3-2 『CISPR 委員会報告 (案)』に基づき、各小委員会の最近の審議状況について担当の副主査から説明があった。これら 2 つの資料については、下記のコメントの後、編集上の誤記等を含め一部修正の上、11 月 24 日の情報通信審議会情報通信技術分科会に報告することが承認された。
- ・資料中にある GCPC 『系統連系インバータ』は、業界で使用している 『系統連

系パワーコンディショナ』に修正すべき。

- ・『校正』と『較正』について用語を統一すべき。

(14) その他

- ・主査から、次回以降の会合において、CISPR 勧告の国内答申に向けた作業の進捗状況について各グループから報告を求める旨、発言があった。
- ・次回の CISPR 委員会の日程については未定であり、改めて連絡する旨、事務局から説明があった。

以 上